平成26年度学生の就活概況とキャリア支援室の取組み

2014 student career support and job hunting status

情報学部キャリア支援室　塩見 彰睦

キャリア支援室は、学生に対する早期キャリア意識形成から進路指導・決定までのトータルケアを通じて、学生たちの効果的な就職活動展開のための支援を行うことを目的としています。キャリアサポートアドバイザを含めた室員９名体制で、キャリア意識啓発のためのガイダンス、企業・官公庁へのインターンシップ生派遣、キャリア支援説明会や合同企業説明会の開催、OB会組織との連携による情報交換などの支援を実施しています。

平成26年度の夏休み前の調査（７月末）では、学部生68.5%、大学院生72.8%が内々定を得ており、ほぼ例年通りの内々定を達成しています。引き続き、就職担当教授やキャリアサポートアドバイザとの個別面談や相談等の未内定者のためのフォローアップに尽力しているところです。近年の学生の就職活動の傾向として、３～４倍の枠があるにもかかわらず学校推薦から自由応募での就職活動に移ってきているように感じています。それだけ大学の知識やスキルを活かして活躍できる魅力のある企業や業種が増えてきているのではないでしょうか。

また、夏休み期間を利用して企業・官公庁へのインターンシップ生派遣を行い、就業体験・社会経験を通して「働くということ」、「プロフェッショナル意識」を培って後に続く就職活動への活用を目指しています。平成26年度も学部３年生、大学院１年生の計38名の学生が実務実習を選択し、NECプラットフォームズ、東芝テック、富士通エフサス、TOKAIホールディングス、システムリサーチ、K-mix、静岡県庁、浜松市役所、浜松市文化振興財団、豊田信用金庫などのソフトウェア・IT関連企業・公共団体で主に夏休みに１～２週間の研修に就きます。このインターンシップについては実習の前後に企業研究成果・実習内容等の発表を行い、実習期間に応じて１～２単位の単位が付与されます。平成28年卒の学生から就職活動が３ヶ月程度後ろ倒しになるため、企業側からも大きな期待を寄せられていますし、学生にとって企業や業種を知る良い機会と捉え積極的に参加するよう指導しています。

今年度４月には大学院１年生を対象に、２年間の修士課程の過ごし方、研究や自己形成の心構え、仲間との共同研究の方向性などについて考える機会を作ることを目的に、大学院新入生研修を実施しました。本年度は、静岡大学情報学部の前身学部・研究科卒業の若手起業者、カラビナシステムズの金指文明氏にお願いし、学生には、大学院の過ごし方に関わる問題提起、議論を経て、討議結果をまとめ報告してもらいました。このような研修を通して、先輩の情報学部での学び(経験)と、その後のキャリアがどのように結びついているかが良く分かった等の声が聞かれ、学生には好評であったようです。この取り組みもキャリア形成の一助となったことと思います。保護者の皆様に年度末には良い報告ができるよう委員一丸となってキャリア支援に努めます。

平成 26 年度インターンシップ事前発表会（2014/7/17）

新任教員の抱負

Aspirations of newly appointed faculty

ヒトの想いが分かる ICT を目指して

情報科学科教授　西村 雅史

５月に情報科学科に着任した西村です。専門は音声言語情報処理で、学生の頃から現在に至るまで 30 年以上にわたってこの分野の研究に取り組んでいます。目標は学生時代から今も変わらず、「ドラえもん」のような知能ロボットを作ることですが、その中で「耳」に相当する部分の研究をやってきたことになります。静岡大学ではこの研究を一歩進め、身の回りのさまざまな音を収集分析することによってヒトの置かれた環境や心身の状況などを理解するための研究に取り組んでいます。また、これに音声言語情報を組み合わせることでヒトの想いを少しでも理解できるようなコンピュータを実現できればと考えています。

なお、「ドラえもん」の研究と言うと少しのんびりした感じがしますが、ご存知のように世界はフラット化しており、特に最先端の研究は熾烈な競争にさらされています。私もこの４月まで外資系 IT 企業の研究所で、まさに昼夜を問わず世界中の研究者を相手に成果を競っていました。今後もこの緊張感を維持して研究に取り組むとともに、教員としては学生諸君が、将来世界を相手にして戦うに足る技術力や状況分析力を身につけられるよう全力でサポートしていきたいと思います。

また、常に「役に立つ研究」について考え、皆で目標を共有し、それに向かって一丸となって取り組む。このような研究室を作っていければと願っています。

学位記授与式・卒業祝賀会のご案内

昨年と同様、学位授与式は浜松市教育文化会館（はまホール）、卒業祝賀会はホテルクラウンパレス浜松にて開催されます。学位授与式におきましては、ご臨席の保護者様が多数の場合には十分な席数を確保することが困難であることを予めご承知おきください。また、卒業祝賀会は卒業生・修了生および教職員のみの参加となっておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成 26(2014)年度　行事予定表

2014年		2015年	
10月1日	後期授業開始	1月5日	授業再開
11月8･9日	静大祭･テクノフェスタ(浜松)	2月4日	後期試験期間(～2月10日)
11月8日	保護者懇談会･個別面談	3月21日	学位記授与式(静岡)
11月14･15･16日	静大祭(静岡)	3月22日	学位記授与式(浜松)
12月23日	集中講義(～12月26日)	3月25日	春季休業(～3月31日)
12月27日	冬季休業(～1月4日)		

お問い合わせ　〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学情報学部事務局
TEL:053-478-1510・1511　FAX:053-478-1513
学務窓口 pr-gakumu@inf.shizuoka.ac.jp　広報窓口 prcom@ml.inf.shizuoka.ac.jp

Joy風 vol.13 October2014

情報学部のウェブページをご覧ください。
情報学部では、保護者・受験生・社会人・一般・企業の皆様向けに学部のウェブページを公開しています。最新情報が掲載されていますので、どうぞご覧ください。
http://www.inf.shizuoka.ac.jp/

Joy風
Faculty of Informatics
Shizuoka University Newsletter
Vol.13, October 2014
http://www.inf.shizuoka.ac.jp
October2014
vol.13
静岡大学情報学部

行事報告

Report of events

平成 26 年度入学式・保護者懇談会

情報学部学生委員会　福田 直樹

平成 26 年度の入学式は、４月４日（金）に静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）にて行われ、情報学部では 208 名の新入生を迎えました。式後には、新入生の保護者の皆様を対象とした「情報学部　保護者との懇談会」が開催されました。当日は落ち着いた天気となり、大変多くの保護者の皆様にご参加をいただきました。懇談会では、学生委員長の司会進行により、学部長始め、情報科学科長、情報社会学科長、教務委員長、学生委員長、キャリア支援室長、国際交流委員から、情報学部の現状、教育、就職、学生生活等の説明をさせていただきました。また、本学部の同窓会組織である浜松工業会会長からもご挨拶をいただきました。懇談会の最後には、皆様からのご質問にできる限りご回答させていただきました。

今回は、浜松市をはじめ、静岡県内、愛知・岐阜・三重の３県から多くの参加をいただいたほか、近隣の山梨をはじめとした中部地方、近畿、関東、中国・四国、九州、東北などの遠方からもお越しいただきました。アンケートにいただいた様々なご意見は、今後の学部運営の貴重な資料とさせていただきます。

保護者懇談会の様子（2014/4/4）

新入生歓迎合宿 in 伊良湖

情報学部学生委員会　福田 直樹

４月 19 日（土）から 20 日（日）の午前にかけて、愛知県渥美半島の先端に位置する休暇村伊良湖で、情報学部の新入生歓迎合宿が開催されました。

毎年恒例となっている情報学部の新入生歓迎合宿では、例年、企画から運営までの多くを、情報学部在学生であり新入生の先輩でもある２年生と３年生の有志ボランティア学生が中心となって進めてくれています。今年は厳選された 25 人の精鋭スタッフが、１年生の時に受けた感激・充実感を後輩に引き継ごうという意気込みで様々な企画を立てて運営を進め、その様子を、学生委員会を中心とした教員が運営の責任者として見守りました。こうした上級生たちの活動は、リーダーシップを取ることの難しさや楽しさなど、彼らが今後社会に出てから役立つ貴重な体験にもなります。このような上級生たちの活躍によって、まだ入学したばかりで緊張している新入生のみなさんが、少しずつ緊張の糸をほどいて周囲と仲良くなっていく様子を見ることができ、大変意義のある合宿になったと思います。

グラウンドでのリクリエーション（2014/4/19）

今回は天候も心地よく、屋外でのバーベキュー、リクレーション、スポーツ、そして夜のナイトウォークや懇親会などをしながら、新入生同士、そして先輩後輩との間で、親睦を深めることができました。帰りのバスの車内では、みなさん疲れてぐっすりお休みのようでしたが、きっといい夢がみられたことでしょう。新入生のみなさん、上級生スタッフのみなさん、そして一緒に見守りに参加した教員のみなさん、大変お疲れさまでした。

夏季オープンキャンパス

情報学部広報委員会　中澤 高師

８月７日、情報学部夏季オープンキャンパスが開催されました。午前と午後の２回に分けて行われ、学部紹介、ミニ講義、研究室等展示、個別相談を通じて、情報学部での学習・研究や大学生活の雰囲気を参加者に体験していただきました。

学部紹介では２学科３プログラム制の説明とキャンパスライフの紹介、入試に関する説明、そして就職などの進路先や支援体制について説明がされ、高校生と保護者は真剣な表情で耳を傾けていました。ミニ講義では、計算機科学（CS）、情報システム（IS）、情報社会デザイン（ID）の各プログラムを代表して、３人の教員が登壇しました。理工系から人文社会系にまで広がる情報学の世界を垣間見てもらえたのではないでしょうか。研究室等展示でも、シミュレーションやセキュリティからアニメ・マンガまで、多彩な研究内容が紹介されました。各ブースでは、参加者が在学生や教員の説明を熱心に聞き、質問を投げかけていました。個別相談では参加者の質問・相談に教職員と在学生が応じました。入試をはじめ、大学での授業や生活、就職などについての疑問や不安を解消していただけたのではないかと思います。

当日はうだるような暑さであったにもかかわらず、約 600 名の高校生と保護者にご来場いただきました。オープンキャンパスでの体験を通じて、一人でも多くの参加者が情報学部に関心をもってくれたことを願っています。

ミニ講義の様子（2014/8/7）

Faculty of Informatics, Shizuoka University Newsletter

人とのつながりを大切に

情報社会学科４年　坂上 紘康

私は現在、大学生活の集大成として「RadioJapan」というプロジェクトの代表を務めています。この取組みは全国の大学にある「放送研究会」の大学間ネットワークをつくり、インターネットラジオの配信を行うものです。全国 25 大学の放送研究会が作るラジオ番組をインターネット上で 24 時間いつでも聞くことができます。

サークル活動の発表の場がなくてモヤモヤしていた３年生の秋にこのプロジェクトを支援いただける方と出会い、プロジェクトの発足をすることができました。私にとって、この出会いは人生においてとても大きな転機になったと考えています。この出会いのおかげで、学生時代にたくさんの貴重な体験もさせていただきました。情報通信月間という ICT 関連のイベントに登壇させていただき、このプロジェクトについての講演をさせていただいた経験もその一つです。

そして、このプロジェクトをきっかけに、同じ “ラジオ” への情熱を持った全国の放送研究会の大学生との繋がりも出来ました。新しく出会った人もいれば、古くからの友人と改めて繋がることができたり、また遠くに住んでいて会ったこともないのに毎週インターネット上で打ち合わせをしている人までいます。現代だからこそできる人と人との繋がりの大切さをこのプロジェクトを通じて感じることができています。地方の人と電話をしていると、地域の違いを感じることもできてとても面白いです。

情報通信月間、イベントにて登壇時の様子
（2014/5/30）

社会に出たら、この経験を糧にして、大学生活を通じて繋がることのできた人との縁を大切にしながら頑張っていきたいと思います。

いましかできない経験

情報社会学科４年　古屋 美季

昨年の７月末、私は竹林研究室に配属されました。１年次の新入生セミナーで竹林先生にご指導いただいたことがきっかけで、その後も竹林研究室のお手伝いをさせてもらううちに「面白そうだなあ」と思い、本当に何気なく志望しました。

伊東美緒博士講演会内での発表、大学構内にて
（2014/6/3）

私には認知症の祖母がいたので、配属されてすぐ、認知症のケアに情報技術を活かす研究に携わることになりました。始めは、自分が祖母と上手くコミュニケーションが取れず厳しい現実を知っている分、自分の携わる研究は本当に人の役に立つのだろうか？、現実はそんなに甘くないのでは、と疑ってしまう場面も多かったです。しかし、この１年で、藤沢市の小規模多機能型居宅介護施設で３日間研修をしたり、トップクラスの専門家の方々のお話を直接聞きそれをコンテンツ化したり、と様々な経験をしました。この研究室にいなければ関わることができないような沢山の人に出会うこともできました。もちろん大変なことも多かったですが、自分にとって初めてのことばかりで、どれもがとても貴重な経験でした。そういった経験を通し、次第に自分自身の研究はこれからの社会に少しでも役に立つものであると、誇りが持てるようになりました。まだまだ未熟ではありますが、私のように認知症の家族を持つ人、認知症のケアに現場で携わる人、そういった沢山の方々に、研究を通じてわずかでも役に立ちたいと今では強く感じています。その為に、これからも毎日の研究室生活を、楽しく、精一杯過ごしたいです。

日本留学の日々

情報科学科２年　ダン ゴック タック

私はベトナムから来た留学生です。３年前には日本に留学するとは思ってもいませんでしたが、今は日本に来てよかったと感じています。

勉強は大変ですが、自分の好きな分野であり、先生方と友達もとても優しいので頑張ってこられました。初めて Java プログラミング言語のコードを見たときの気持ちはまだ覚えています。何となく格好いいと感じていましたが、全く理解できなくて、不安の毎日でした。しかし、２年生の前期を終えた今では少しずつ読めるようになってきて、とても嬉しく思います。これは先生と熱心に教えてくれた皆さんのおかげです。

勉強だけでなく、１週間に３回マレーシアや日本などの友達とサッカーをするのがとても楽しいです。サッカーだけでなく、自分の国のことを紹介したり、友達の国のことを聞かせてもらったり、色々な言語に触れることができるのも楽しみです。

日本と世界中の国の文化に興味をもっており、母国のことも皆に知ってもらいたいので、大学２年間で色々な交流活動に参加してきました。去年、「わっわっわっ」という 100 人ほどの世界平和をテーマにした討論会を企画する実行委員会に参加し、本当に楽しかったです。初めて海外でイベントのスタッフを体験することで色々勉強になりました。一番面白かったのは留学生と日本人学生との２日間の合宿で、たくさんの友達ができました。

今年は静岡県の留学生親善大使に挑戦しています。これは学校や企業を訪問し、交流活動を通じて母国の文化を紹介する活動です。日本語にはまだ自信がありませんが、最後まで頑張りたいと思います。

「2013 わっわっわっ」のスタッフ
（2013/12/7）

映像技術の発展のために

情報学研究科１年　小寺 志保

今年のワールドカップでは 4K 映像の試験放送が行われました。2020 年の東京オリンピックでは本格的な 4K 映像、さらにその上の 8K 映像での放送が目標とされています。他にも、複数のカメラで撮影した映像から、3D 映像や被写体の周囲を回り込むような映像を作り出すことも可能となっています。将来的には、4K、8K のような超高精細映像を複数用いた、まるで現地にいるような臨場感あふれる映像を視聴できるようになると考えています。

DICOMO2014 での発表
（2014/7/10）

私は、このような映像を視聴者に提供するために、複数の映像をいかに効率よく伝送するかについて研究しています。どれだけ高性能なカメラで撮影しても、視聴者に映像を伝送する間に品質が劣化しては意味がありません。また、視聴者の再生するスピードより映像を早く届けなければ、映像が途切れたり止まったりします。映像伝送の研究では、品質を維持しつつ、いかに速く映像を伝送するかが重要となります。

しかし、２つの課題を同時に克服する手法を考えることは容易ではなく、研究に行き詰まることがよくあります。そんなとき、研究室の先生・先輩方から頂くアドバイスが元となり、新たな方面からアプローチすることで、より良い方式ができるのではないかと研究意欲が湧きます。この連鎖がこれまでの私の研究を支えてくれているのだと思います。

映像伝送の研究は、将来の映像技術の発展に欠かせない研究になると考えています。私も映像技術の発展に貢献できるよう、日々研究に励んでおります。

生協の販売データから見る学生の日常生活

Daily life of students from the perspective of the co-op sales data

書籍販売ランキング

情報学部広報委員会　田中 柊子

お昼時にはおにぎりやサンドイッチを買いにくる学生であふれかえる生協ショップですが、書籍コーナーもあります。雑誌、ライトノベル、漫画、教科書、辞書、参考図書、新書、旅行ガイドまで学生の需要を意識した品揃えです。実際どんな本が売れているのか、４月から７月までの販売数ランキングを見てみましょう。１位は『TOEIC TEST 英単語スピードマスター』。２位以下を大きく引き離して 109 冊も売れました。上位 20 位までの書籍のうち、３割以上が TOEIC 関連でした。英語の授業で受験が必須になっていることもあるでしょうが、TOEIC スコアは就活でも就職後にも活用できる有効な武器ですね。「スピード」、「直前」、「特急」などギリギリ感あふれるワードを冠したタイトルが売れ筋なのが少し気になるところです。２位につけたのは、マンガ『ONE　PIECE』の第 74 巻。連載開始からもう 17 年。息が長い人気作品です。他にもマンガは『テラフォーマーズ』（進化したゴキブリと人類の闘いを描いたスゴイ作品）と連載 20 周年の『名探偵コナン』がエントリー。大学生になってもマンガ、とご心配なく。マンガも一つのメディア、一つの情報表現です。卒業研究のテーマにしている学生さんも少なくないです。小説のトップは西尾維新の『終物語』下巻。大ヒットした『化物語』など〈物語シリーズ〉の続編です。他にも松坂洋のライトノベルから始まりアメリカにて実写映画化された『All you need is kill』のマンガ第１巻もランキングに入りました。英語以外の参考書では、線形代数や微分積分に関するものがありました。生協以外で書籍を購入する学生さんも多いでしょうが、学生さんの日常が垣間見えるようなランキングでした。

北会館ショップの書籍コーナー

北会館ショップ書籍販売ランキング（2014 年 4 月 1 日～7 月 31 日）

順位	書　名	販売数
1	TOEIC　TEST 英単語スピードマスター	109
2	ONE　PIECE　巻 74	62
3	スバラシク実力がつくと評判の線形代数キャンパス・ゼミ	48
4	新 TOEIC テスト直前の技術（テクニック）	40
5	新 TOEIC　TEST 出る単特急金のフレーズ	33
6	自分の考えを「5 分でまとめ」「3 分で伝える」技術	32
7	はじめての光学	29
7	TOEIC テスト新公式問題集　vol.　5	29
8	英辞郎	27
9	TOEIC テスト究極の模試 600 問	26
10	新 TOEIC　test 文法特急	23

※教科書指定されている書籍は除く

食堂販売ランキング

情報学部広報委員会　中澤 高師

情報学部生はどのような食生活を送っているのだろうか。情報学部生の胃袋を支えているのが、1号館に隣接する北会館の食堂である。座席数は 180 あり、営業日一日当たりの利用者数は約 700 人にのぼる。教職員も利用するが、情報学部生が4学年で約 800 人であることを考えると、かなりの割合の学生が利用していることが分かる。そんな北会館食堂で情報学部生は何を食べているのだろうか。夏学期の販売数ランキングを紹介する。

第1位に輝いたのは「クイックセット」だ。日替わりのセットメニューで、ハムカツや豚カツ、豚焼肉といった主菜に、野菜とご飯、味噌汁がついてくる。値段も 378 円と大変お得。一日 200 食以上も出る超人気メニューで、2位以下に大差をつけて堂々のトップだ。

「クイックセット」の「豚カツ和風ソース」

丼ぶりも人気で、5位以内に3つがランクインしている。2位の「豚みそ焼肉丼」は、濃厚な味噌が絡まった豚肉と野菜がご飯によく合う一品。3位の「チキン竜田丼」は、チキン竜田3つにネギを散らした、シンプルだが食べ応えのある丼ぶりだ。5位の「カツたま丼」はカツ丼風の丼ぶりで、カツの上に卵の餡がかかっている。

注目は4位の「ビュッフェ」。いわゆるサラダバーで、種類豊富な野菜から好きなだけ皿に盛っていき、レジで重さを量って支払いをする。値段は1g あたり 1.29 円。他にも、6位の「ポテト&コーンサラダ」や9位の「ほうれん草ゴマ和え」、10 位の「モロヘイヤとオクラのお浸し」など野菜系が上位にランクインしており、栄養バランスにも気を使っていることがうかがえる。

勉強に加え、部活・サークル活動やアルバイトにも勤しむ大学生にとって、毎日の食事は集中力やエネルギーを維持するうえで大切である。是非ともバランスのとれた食生活を心がけてもらいたい。

※メニューと価格は 2014 年度夏学期のものです。

北会館食堂販売ランキング（2014 年 4 月 1 日～7 月 31 日）

順位	メニュー名	販売数	価格
1	クイックセット	18,305	378 円
2	豚みそ焼肉丼	4,718	378 円
3	チキン竜田丼	3,743	410 円
4	ビュッフェ	3,699	1.29 円 /g
5	カツたま丼	2,582	410 円
6	ポテト＆コーンサラダ	2,559	86 円
7	バランスランチ	2,323	432 円
8	チキンおろしだれ	2,070	302 円
9	ほうれん草ゴマ和え	2,053	54 円
10	モロヘイヤとオクラのお浸し	1,757	54 円